

大会要綱

1 参加資格

J H F フライヤー会員登録証が有効な者

Expert クラス J H F 技能 P 証以上所有者

1 s t クラス J H F 技能 C 証以上

2 s d クラス J H F 技能 B 証以上（スカイフローティングハーネスも可であるが、J H F 教員の推奨を受けた者に限る）

2 参加機体

F A I クラス 1 に限る。使用機体は原産国の運用限界が明記された物とする

エントリーNo.は主催者側が用意したテープに明記し、アップライト等に貼り付ける

3 参加機体の変更

原則として、同機種・同サイズとする

破損により修理不可能の機体変更は、競技委員長の判断により他機種・他サイズのものに変更することができる

変更の際は、書面にて競技委員長に機体変更申請を提出し、機体検査を受けること。

4 装備

ヘルメット（強度のある物）、パラシュート（1 2 0 日以内にリパックされたもの）、サブライン、ロック付きカラビナを必ず装着すること

5 フライトの成立及び大会成立

フライトの成立はゲートオープンの累計時間が（受付選手数×2分以上/ランチャー台数）以上である、或いは当日参加選手が全員テイクオフし、L D Q がプラスであれば成立する

最低1本のフライト成立で大会成立とする

6 順位決定

大会期間中の合計点で順位を決定する

7 大会役員の権限

大会中は、大会役員の指示に従わなければならない

競技に支障を来たす行為をした選手は、大会役員の判断でその日のフライトを失格或いは大会失格とする場合がある

8 フライト失格

雲中飛行、飛行禁止空域フライト、空中接触、帰着申告時間内未提出、フライトルール違反の他、危険な飛行と判断される場合、そのフライトを失格する場合がある

9 大会失格

危険行為、不正行為、飛行禁止空域内ランディング、大会規定に違反した選手は、役員会により大会失格とする場合がある

10 事故及び損害賠償

大会期間中、万一事故、傷害や損害が生じた場合、大会規定・エリアルールに則り本人の責任に於いて速やかに処理し、本部に報告すること

また、主催者や大会関係者に対して責任追及、損害賠償などの請求を決して行わないこと

11 抗議

抗議申し立ては、トラブル発生後1時間以内に文書で供託金20000円を添えて競技委員長に提出すること

12 公式掲示板

公式掲示板を大会本部及びテイクオフに設置し、当日のフライト内容及び成績などを発表するので、選手は公式掲示板を確認すること

13 アウトサイド

アウトサイドをした者は、必ずアウトサイド申告を行い、エリア規定のアウトサイド料金及び被害に応じた額を支払うこと